EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

02057564

PUBLICATION DATE

27-02-90

APPLICATION DATE

18-08-88

APPLICATION NUMBER

63205851

APPLICANT: SANWA KASEI KK;

INVENTOR: SHIMIZU HIROSHI;

INT.CL.

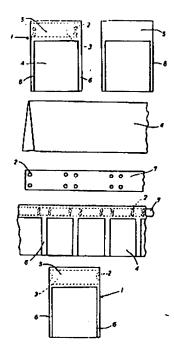
B65D 33/14 B31B 1/60 B31B 1/88

B31B 23/14

TITLE

PACKAGING BAG AND

MANUFACTURE THEREOF



ABSTRACT :

PURPOSE: To prevent the upper printed part from being folded or curled and the print on the front or rear side from being seen through, by holding a label having at least one heat-seal part inside a fold of a double folded synthetic resin film and by heat-sealing the upper printed part holding said label and the seal part at both sides.

CONSTITUTION: This packaging bag 1 holds a label 3 having four holes as four heat-seal parts 2 inside a fold of a synthetic resin film 4 double folded, which is heat-sealed at the upper printed part 5 holding the label and also at the seal part 6 at both sides to hold the label within the film by means of the heat-seal part. For the production thereof, at first, the synthetic resin film 4 is folded double in the longitudinal direction along the middle thereof. A longitudinally long label 7 having at least one heat-seal part every unit of a bag width is held inside the fold and then heat-sealed at the upper printed part 5 and the seal part 6 at both sides. Finally it is cut off at the middle of the both sealed parts.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio

This Page Blank (uspto)

⑲日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

母公開特許公報(A) 平2-57564

®Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

@公開 平成2年(1990)2月27日

B 65 D B 31 B 23/14

Z 3 2 1 3 2 1

6833-3E 8818-3E

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

❷発明の名称

包装用袋及びその製造方法

②特 顧 昭63-205851

多出 顧 昭63(1988) 8月18日

明 個発 者

東京都目黒区目黒本町5-18-9

明 個発

神奈川県鎌倉市今泉台6-14-14 香川県丸亀市中津町1515番地

大倉工業株式会社 砂出 顯 人 勿出 頭 三和化成株式会社

神奈川県横浜市南区永田東3-8-14

1、発明の名称

包装用袋及びその製造方法

2. 特許請求の範囲

1、二つ折りされた合成樹脂フイルム(4)の 折り日態内に少なくとも1つの熱融着部(2) が設けられたラベル(3)を挟持し、該ラベル を挟持した上部印刷部(5)及び両例シール部 (6) を熱磁着してなる包装用袋。

2. 長尺な合成樹脂フイルム(4)を長さ方向 に中央に沿って二つ折りし、袋の幅を単位とす る単位毎に少なくとも一つの熱融着部が設けら れた長尺なラベル材(7)を折り自部内側に挟 持し、該ラベル材を挟持した上部印刷部 (5) 及び両側シール部(6)を熱融着し、前記両側 シール部の中央を切断することを特徴とする包 装用袋の製造方法。

3、発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は食品、雑貨等の生活用品を包装してスー

パー等で展示、販売する包装用袋及びその製造方 法に関するものである。

〔従来の技術〕

従来の上部に白幽部を有する包装用袋は、ポリ エチレン、ポリプロピレンなどの合成似胎を素材 とする単体の長尺なフィルム或はこの単体フィル ムにナイロン、ポリエステルフイルムなどをラミ ネートした複合フィルムを二つ折りし、駄フィル ムの折り目部分に表示内容を直接印刷し、印刷部 及び袋の両側シール部を熱融着し両側シール部の 中央を切断して得られるものであった。

【発明が解決しょうとする課題】

上記従来の包装用袋 (第6箇) は、上部印刷部 の表観又は裏側の印刷内容が、駄印刷部が透明な ため互いに遊けて見えるという欠点があった。又、 核印刷部の角が折れたり、カールする等変形が起 こりやすく商品価値を摂なうという欠点があった。 これに対し、本発明は上記欠点を解決した包装

用級及びその製造方法を提供するものである。

[課題を解決するための手段]

特開平2-57564 (2)

本発明は、上記課題の原決のため二つ折りされた合成街路フィルムの折り目部の内側に少なくとも一つの熱融着部を有するラベルを挟持し、該ラベルを挟持した上部印刷部及び両側シール部を熱融着させるものである。

【実施例】

以下本発明の一実施例を示す図面に基づいて説明する。

第1回は本発明に係る包装用銭1の平面図であり、二つ折りされた合成倒聞フィルム4の折り目部の内側に四つの熱敵着部2として四つの孔を穿設したラベル3を挟持し、該ラベルを挟持した上部印刷部(5)及び両側シール部6を熱敵着させ、該ラベルの熱敵着部を通して前記二つ折りされたフィルムが熱敵者して該ラベルをフィルム内に保・持するものである。

次に本発明の包装用袋の製造方法について述べると、先ず第2因に示す長尺な合成樹脂フィルム(4)の中央に沿って長さ方向に二つ折りし、袋の幅を単位とする単位毎に少なくとも一つの熱酸

着部を設けた長尺なラベル材(7)(第3回)を 折り目部の内側に挟持し、該ラベルを挟持した上 部印刷部(5)及び両側シール部(6)を熱融着 し(第4回)、該両側シール部の中央を切断する ものである。

第5 図は他の形状の熱融着部(2) 設けたラベル (3) を挟拾した包装用袋を示すものである。 該熱融着部の形状、複数は包装用袋の大きさ形状 などにより、適宜決定されるものである。

又、ラベルの材質は腰が強く腫酸性に使れた紙、 アルミ箔、着色されたポリエステルフィルムなど が好ましい。その他金属或は合成切脂の酵葉の形 状記憶物質をラベルとして使用することもできる。

上部印刷部の表示内容は二つ折りされる合成例 設フィルムの内側の所定位置に印刷されてもよく、 ラベル材に印刷してもよい。

[発明の効果]

以上述べた如く本発明の包装用袋は、袋を構成 する合成倒髄フィルムとは材質の異なる限の強い、 態範性に優れたラベルが上部印刷部に挟持され、

彼うベルに設けられた熱敵者部を通して表裏二面の合成樹脂フィルムが熱敵者して前記ラベルを保持するので上部印刷部が折れたりカールすることがない。又表側或は裏側の印刷が互いに透けて見えることもないものである。

更に、ラベル材として形状記憶物質を用いた場合は希望する形状の上部印刷部を有する包装用袋が常に得られるのでディスプレイ効果が向上する ものである。

又、本発明の包装用袋の製造方法は、上記のような優れた効果を有する包装用袋を係めて能率よく製造することができるものである。

4.図面の簡単な説明

第1 図は本発明に係る包装用後の正面図、第2 図は二つ折りした長尺な合成樹脂フィルムの斜視図、第3 図は熱融着部を設けた長尺なうべル材の正面図、第4 図は長尺なうべル材を二つ折りした長尺な合成樹脂フィルムに挟持し、上部印刷部及び両側シール部を熱融着の設けられた長尺なって

ル 材が挟持された包装用袋の正面図、第6図は従来の包装用袋の正面図である。

1・・・包装用袋

2・・・熱融着節

3

4・・・合成樹脂フイルム

5・・・上部印刷部

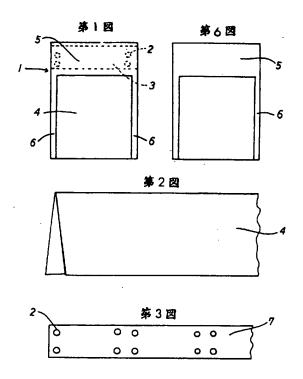
6・・・ 両側シール部

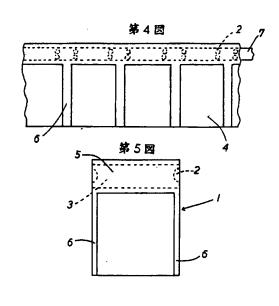
て・・・ラベル材

特許出願人 大倉工業株式会社 代表取締役 久米志明

三和化成株式会社 代表取締役 排水幣

特開平2-57564 (3)





This Page Blank (uspto)